

# お茶会だより 11月号

矢島保育園

R4. 11. 22(火)

久しぶりのお茶のお稽古に、緊張感をもって、お茶室に入る姿が見られました。植田先生から、「また、みなさんと一緒にお稽古ができることが嬉しいです」と言葉をかけてもらうと、その嬉しさに表情がほころびました。

今回はお箸の作法を教わっていただきました。正しい持ち方はもちろんのこと、お皿に置くまでの一連の流れを学びます。ドキドキしながらも普段使っているものより長さのあるお箸を上手に扱っていました。

毎月順番で4人のお友達にお菓子運びや菓子器を下げる役割をお願いしています。前半と後半に分かれ、2人ずつの役割となりますので特にあいさつの時には緊張感が高まります。もう一人のお友達の様子を見ながら恐る恐る声を発することが多かった。この瞬間ですが、今回は堂々とあいさつをしようとする姿に成長を感じ、嬉しく思いました。相手に任せるのではなく、自分がリードしていく。そのような自信が感じられ、頼もしかったです。

少しずつではありますが、身についてきている作法も増えてきています。一つ一つの作法を丁寧に、そして自信をもって行っていけるよう日々の活動の中で取り組んでいきたいと思っております。



☆お茶会で使用する、白くつは、分かりやすいところに記名をし、早めに園に持ってきてくださるようお願いいたします。

## 【今月の床の間】



《茶花》「ニシキギ・コギク」

床の間には、秋の様子が表されています。掛け軸には、みんなで一緒に仲良く和やかに過ごして欲しいという植田先生の思いが込められています。

《掛け軸》  
「円相」



《香合》「<sup>とまや</sup>苦屋」



《お菓子》「バームクーヘン」

## 【お茶会の様子】

今月は箸の作法を学びました。植田先生のお手本を見る子ども達の表情は真剣そのもの！「次はどうするのかな？」と自分で考えながらお稽古に取り組んでいました。



久しぶりに皆さんと一緒に  
お稽古できることが嬉しいです

難しいなあ…。



お茶を飲み終わった後の作法はバッチリ覚えていたよ！



心を込めてお茶を点てるよ

今まで学んだことを思い出しながらのお稽古でしたが、お茶の点て方や動きなど少しずつ確実に覚え、身につけてきました。分かってはいるけれど、これでいいのかな？と不安そうな表情も見られるので、自信をもってできるよう稽古に励んでいきたいと思っています。